

取扱説明書

耐火ボックスN

国土交通大臣認定：PS060WL-0052,0054（壁）／PS060FL-0053（床）

IRB-N

国土交通大臣認定書の仕様に基つき正しく施工してください。
正しい施工を行わないと火災時に延焼のおそれがあります。
国土交通大臣認定書については、右記のQRコードを確認してください。

国土交通大臣
認定書

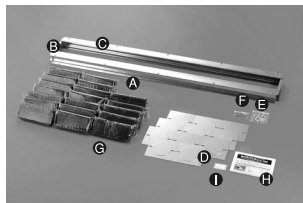


注意

- ①作業時は、作業用手袋などを着用してください。
- ②屋外でご使用の場合は、紫外線、雨水などが当たらないように処置を施してください。
- ③厚さ100mm以上の壁・床に適用されます。中空壁にご使用の際は、耐火キャップNXなどを使用してください。
- ④サイズ選定の際には、占積率および金具最小内径を共に満たすことを確認してください。
- ⑤アダプターは、1束（配管1系統など）に対して1枚必ず使用してください。
- ⑥区画貫通部で配管などが動かないように近傍でしっかりと固定してください。とくに縦引きの冷媒管の場合は、配管長の中央部に「パイプロックTKJ」を使用して配管を支持してください。不十分な場合はパテにすき間が生じたり落下する可能性があります。耐火性能が発揮できません。
- ⑦区画の壁の材質によってはパテに含まれる油分が染み出すおそれがありますので注意してください。
- ⑧架橋ポリエチレン管またはポリブテン管に使用する場合は、管と熱膨張性耐熱シールIPが直接触れないように被覆してください。

仕様

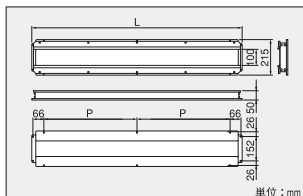
■ セット内容



記号	部品名	材質	数量
A	本体L	SGHC	2
B	本体S	SGHC	2
C	蓋	SGHC	2
D	アダプター	SGCC	寸法表参照
E	組立ビスM5×8L	ユニクロ処理鉄材	寸法表参照
F	コンクリートタッピングビスM4×25L	ユニクロ処理鉄材	寸法表参照
G	熱膨張性耐熱シールIP	耐熱シール	寸法表参照
H	取扱説明書	—	1
I	国土交通大臣認定品表示シール	—	1

※部品A,Bは仮組みした状態で梱包されています。※部品E,F,IはHについています。

■ 寸法表



型番	適合貫通穴 (mm)	寸法 (mm)		数量			梱包
		L	P	アダプター	組立ビス	タッピングビス	
IRB- 3N	125× 380以下	470	326	4	14	8	7
IRB- 5N	125× 620以下	710	566	6	14	8	10
IRB- 7N	125× 850以下	940	398	8	16	10	13
IRB-10N	125×1200以下	1290	573	11	18	10	18

※床、壁片側、壁両側（2個使い）工法に使用できます。

適用配管及び収納列表

配管種類		1本あたりの最大サイズ	占積率
金属管	被覆金属管	被覆外径φ96 (管径φ53.98、被覆厚20)	31.02% 以下
硬質塩化ビニル管	被覆硬質塩化ビニル管	被覆外径φ76 (管径φ60、被覆厚12)	
ポリエチレン管 架橋ポリエチレン管 ポリブテン管	被覆ポリエチレン管 被覆架橋ポリエチレン管 被覆ポリブテン管	被覆外径φ65 (管径φ42、被覆厚10)	
金属強化架橋 ポリエチレン管	被覆金属強化架橋 ポリエチレン管	被覆外径φ77 (管径φ33、被覆厚20)	
可とう塩化ビニル管 可とうポリエチレン管	被覆可とう塩化ビニル管 被覆可とうポリエチレン管	被覆外径φ47 (可とう管φ35、被覆厚6)	
発泡塩化ビニル管		φ60	
さや管（挿入管=ポリエチレン管、架橋ポリエチレン管、 ポリブテン管、ケーブル）		φ42（挿入管φ34、ケーブル外径 φ40（CV38mm×3C等））	
ケーブル		φ40、導体総断面積300mm ² (CV100mm ² ×3C等)	

※被覆とは、ポリエチレンフォーム、難燃ポリオレフィンフォーム、ポリスチレンフォーム、硬質ウレタンフォーム、フェノールフォーム、合成ゴムフォーム（ニトリルゴム、スチレンゴム、クロロプレンゴム、エチレンプロピレンゴムなど）グラスウール、ロックウールなどを指します。

※金属管とは、銅管、鋼管、ステンレス鋼管などを指します。

※可とう塩化ビニル管・可とうポリエチレン管とは、ドレンホースDHなどを指します。

※被覆可とう塩化ビニル管・被覆可とうポリエチレン管とは、断熱ドレンホースDSHなどを指します。

※開口寸法、配管外径から占積率を考慮してサイズ選定されているかを確認してください。



下図は床施工、壁片側施工を基に解説しています。
壁両側施工の場合は、壁の裏面からも同様に施工してください。

1. 貫通開口部を設ける

穴間ピッチを考慮の上、製品サイズに適した貫通開口部を設けてください。（図1）

- 耐火ボックスNは組立構造になっているため、作業スペースには余裕を取ってください。
- 床面に凹凸がある場合は、モルタルなどでフラットにしてください。

2. 配管

貫通開口部に配管してください。（図2）

3. 下穴（金具固定用）を設ける

仮組みしてある耐火ボックスNをL字状にバラし、一度貫通穴に合わせて、下穴の位置決めをしてください。
金具を取り除いた後、φ3.4×25Lの下穴を設けてください。（図3）

- ビスやピッチおよび数量は、Pの寸法表を参照してください。
- 耐火ボックスNは、貫通穴の中央に合わせてください。

4. 本体金具の組み立て

配管に合わせて本体Lおよび本体Sの刻印を天面にして、△マークが内側に向くように付属のM5 組立ビスで組み立ててください。（図4）

5. 本体金具の固定

床面に、付属のM4 コンクリートタッピングビスを取り付けてください。（図5）

6. アダプターの取り付け

パテ落下防止のため、本体Lのアダプター差込口にアダプターを挿入し、配管の両側から取り付けてください。（図6）

- アダプターを落下させないように注意してください。
- アダプターは重ねることで、配管ピッチを最小17mmまで施工できます。
- 未使用スペースはアダプターをバラさずに取り付けてください。

7. パテ落とし込み

付属の熱膨張性耐熱シールIPの包装を取り除き、ブロック形状のまま、金具内面に沿ってパテ落とし込んでください。（図7）

- 未使用スペースが多い場合にはIPが不足します。アダプター2枚に対して1個の割合で、別売の熱膨張性耐熱シールIP-5を追加してください。

8. パテナらし

配管とのすき間が塞がるように、熱膨張性耐熱シールIPを配管側に押し伸ばして、ならしてください。（図8）

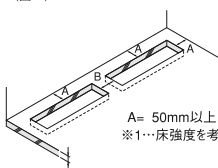
- 配管周囲を上から押し過ぎると、IPが下側へ落下するおそれがありますので、配管へ周囲（横）から押し付ける要領で仕上げてください。

9. 仕上げ

蓋を刻印が表向きになるように取り付けて、残りの熱膨張性耐熱シールIPを全て充填し、金具に面になるように仕上げで完成です。（図9）

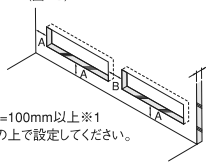
- 床下からも仕上げれば、より確実です。

〈図1〉

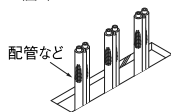


A= 50mm以上。B=100mm以上※1
※1…床強度を考慮の上で設定してください。

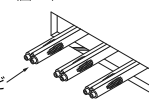
〈図10〉



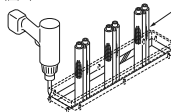
〈図2〉



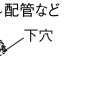
〈図11〉



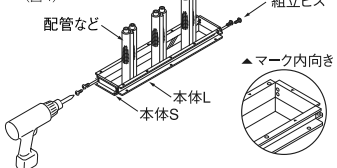
〈図3〉



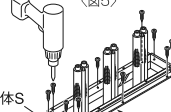
〈図4〉



〈図5〉



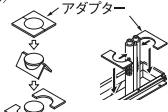
〈図6〉



〈図7〉



〈図8〉



〈図9〉



1. 貫通開口部を設ける

穴間ピッチを考慮の上、製品サイズに適した貫通開口部を設けてください。（図10）

- 耐火ボックスNは組立構造になっているため、作業スペースには余裕を取ってください。
- 壁面に凹凸がある場合は、モルタルなどでフラットにしてください。

2. 配管

貫通開口部に配管してください。（図11）

3. 下穴（金具固定用）を設ける

仮組みしてある耐火ボックスNをL字状にバラし、一度貫通穴に合わせて、下穴の位置決めをしてください。
金具を取り除いた後、φ3.4×25Lの下穴を設けてください。（図3）

- ビスやピッチおよび数量は、Pの寸法表を参照してください。
- 耐火ボックスNは、貫通穴の中央に合わせてください。

4. 本体金具の組み立て

配管に合わせて本体Lおよび本体Sの刻印を天面にして、△マークが内側に向くように付属のM5 組立ビスで組み立ててください。（図4）

5. 本体金具の固定

壁面に、付属のM4 コンクリートタッピングビスで取り付けてください。（図5）

6. アダプターの取り付け

パテ落下防止のため、本体Lのアダプター差込口にアダプターを挿入し、配管の両側から取り付けてください。（図6）

- アダプターを落下させないように注意してください。
- アダプターは重ねることで、配管ピッチを最小17mmまで施工できます。
- 未使用スペースはアダプターをバラさずに取り付けてください。

7. パテ落とし込み

付属の熱膨張性耐熱シールIPの包装を取り除き、ブロック形状のまま、金具内面に沿ってパテ落とし込んでください。（図7）

- 未使用スペースが多い場合にはIPが不足します。アダプター2枚に対して1個の割合で、別売の熱膨張性耐熱シールIP-5を追加してください。

8. パテナらし

配管とのすき間が塞がるように、熱膨張性耐熱シールIPを配管側に押し伸ばして、ならしてください。（図8）

- 配管周囲を上から押し過ぎると、IPが裏側へ落下するおそれがありますので、配管へ周囲（横）から押し付ける要領で仕上げてください。

9. 仕上げ

蓋を刻印が表向きになるように取り付けて、残りの熱膨張性耐熱シールIPを全て充填し、金具に面になるように仕上げで完成です。（図9）

- 壁裏からも仕上げれば、より確実です。

因幡電工カンパニー

因幡電機産業株式会社

詳しくはウェブサイトをご覧ください

<https://www.INABA-DENKO.com/>（最新情報や技術資料など）

<https://www.INABA-DENKO.com/ja/network>（営業窓口）

札幌営業所 ☎(011)209-1784☎ FAX(011)209-1789 横浜営業所 ☎(045)470-1780☎ FAX(045)470-1798 広島営業所 ☎(082)545-1132☎ FAX(082)545-1134 大塚2課(東京) ☎(03)5783-1722☎ FAX(03)3474-1716
仙台営業所 ☎(022)293-1785☎ FAX(022)293-1802 名古屋営業所 ☎(052)541-1780☎ FAX(052)541-1791 九州1課 ☎(092)283-1751☎ FAX(092)262-1787 東京推進課 ☎(03)5783-1721☎ FAX(03)3474-1715
関東営業所 ☎(048)642-1783☎ FAX(048)642-1786 金沢営業所 ☎(076)262-1783☎ FAX(076)262-1787 九州2課 ☎(092)283-1785☎ FAX(092)262-1787 大阪推進課 ☎(06)4391-1941☎ FAX(06)4391-1905
首都圏1課 ☎(03)5783-1723☎ FAX(03)3474-1718 近畿1課 ☎(06)4391-1940☎ FAX(06)4391-1945 大塚1課(大阪) ☎(06)4391-1713☎ FAX(06)4391-1945
首都圏2課 ☎(03)5783-1724☎ FAX(03)3474-1719 近畿2課 ☎(06)4391-1732☎ FAX(06)4391-1945

※商品に関するお問い合わせは、お近くの営業所へ、お気軽にどうぞ。